

# 登録鳶・土工基幹技能者 新規講習 試験問題

2024年9月15日(日) 実施

--

地区番号		受講番号	
------	--	------	--

氏名	
----	--

## 【試験上の注意】

1. 試験時間は**60分間**です。 但し、開始後**30分間**は退席できません。
2. 試験問題は**6ページ50問**あります。試験問題に落丁等がある場合には係員に申し出て下さい。  
また、**両面印刷**ですのでご注意ください。
3. 係員の開始の声がかかるまで、試験問題を開けないで下さい。
4. 出題方式は、4者択一式及び正誤式です。  
**問題1～問題25は、その答え(①～④の数字)を解答用紙に記入して下さい。**  
**問題26～問題50は、その答えを(○×)を解答用紙に記入して下さい。**  
**合計点が60点以上で合格となります。**
5. 問題用紙と解答用紙に**地区番号・受講番号・氏名**の記入が必要です。  
**地区番号・受講番号・氏名の記入がないと不合格となりますので、必ず記入して下さい。**
6. 退出時は問題用紙・解答用紙双方を試験監督者に必ず提出して下さい。
7. 机の上には筆記用具以外は物を置かないようにして下さい。
8. 携帯電話の電源は必ずお切り下さい。(マナーモード不可)

# 2024年9月 登録鳶・土工基幹技能者 新規講習 試験問題

## 問題1. 時間外労働の上限規定について、不適当なものを1つ選びなさい

- ① 時間外労働は、年720時間以内とすること
- ② 時間外労働と休日労働の合計は、月100時間以内とすること
- ③ 時間外労働と休日労働の合計2～6か月平均が、全て80時間以内であること
- ④ 時間外労働が月45時間を超えることができるのは、年6か月が限度であること

## 問題2. パワハラの定義に関する記述について、不適当なものを1つ選びなさい

- ① 労働者の就業環境が害されるもの
- ② 職場における優越的な関係を背景とした言動であるもの
- ③ 業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの
- ④ 主体的にみて、適正な業務指示や指導は該当しない

## 問題3. 鳶・土工工事における登録基幹技能者に求められるものとして、不適当なものを1つ選びなさい

- ① 現場の作業環境整備を通して、工事全体の安全確保と効率化に貢献できること
- ② 十分な経験を有し、熟達した作業能力を有し、出来上がりの点検、工事の是正ができること
- ③ 技術の進展等に的確に対応した知識を有し施工方法、作業手順、工夫の提案ができること
- ④ 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力を有し監理者との調整ができること

## 問題4. 登録鳶・土工基幹技能者講習を受講するための要件について、不適当なものを1つ選びなさい

- ① 鳶1級技能士の資格を有する者
- ② 10年以上の実務経験を有する者
- ③ 1・2級建築または土木施工管理技士の資格を有する者
- ④ 3年以上の職長経験を有する者

## 問題5. 基幹技能者が担うべき指導・教育の目標設定として、不適当なものを1つ選びなさい

- ① 部下が意欲を持って取り組める目標であること
- ② 目標は、定量的で具体的であること
- ③ 日常の仕事とは違う項目での指導・教育が可能な目標であること
- ④ 目標は、設定期間終了時に評価が可能であること

## 問題6. 作業手順書に関する記述について、不適当なものを1つ選びなさい

- ① 過去の経験も参考に安全でやり易い作業の進め方や安全ポイントを示すものである
- ② 未経験者や不慣れな作業員にやり方を教える教材にもなる
- ③ 経験の異なる作業員同士の意思統一に活用することもできる
- ④ 作業方法の基準となるので、必ず手順書に沿って作業をすすめる

**問題7. 施工管理手順のPDCAサイクルに関する記述について、不適当なものを1つ選びなさい**

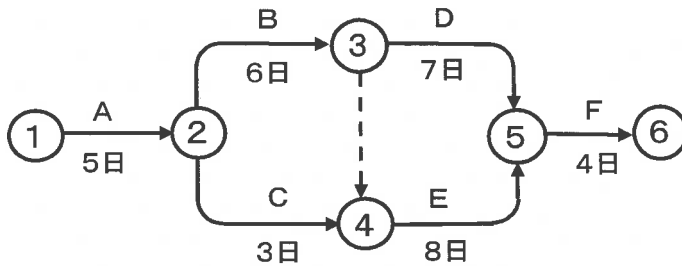
- ① 第1段階(Plan) : 計画を立てる
- ② 第2段階(Do) : 計画に基づき実施する
- ③ 第3段階(Check) : 結果と計画を比べ手順を見直す
- ④ 第4段階(Action) : 適切な処理を施す

**問題8. 輸送計画での考慮すべき事項について、不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 特殊車両による陸上輸送の場合、道路管理者、警察、地元関係者との協議をする
- ② 海上輸送の場合、港湾管理者、河川管理者、漁業関係者などと協議する
- ③ 一般道を利用しての輸送の場合、道路管理者や警察の許可が必要となる
- ④ 一般貨物運送と同様に道路関係法令車両制限等多くの適用を受けるので考慮する

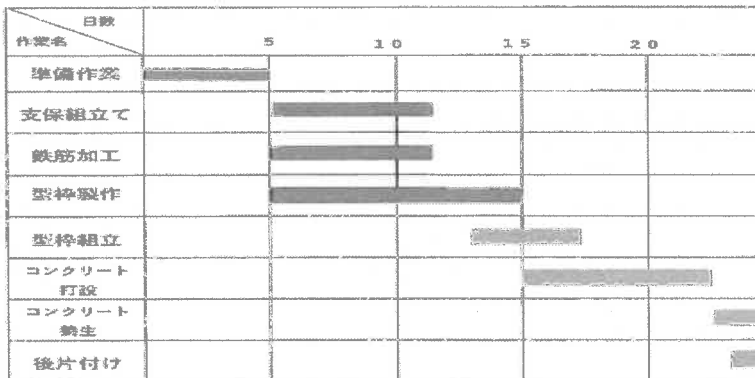
**問題9. 下図のネットワーク工程表についての記述で、間違っているものを1つ選びなさい**

- ① 作業Bの終了までは、11日間かかる
- ② 作業Cは、3日間の余裕がある
- ③ 作業Eは、9日目から開始できる
- ④ このネットワークの全作業を終了させるには、23日間かかる



**問題10. バーチャート工程表を説明した記述で、不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 多くの工事で活用されている
- ② 各作業の現時点での作業達成度が分かる
- ③ 進捗状況が直視的に分かり、それぞれの作業の関連性は漠然と分かる
- ④ それぞれの工程が全体の工期にいかに関与するか分かる



バーチャート工表程表

**問題11. 原価管理に関する記述として、最も不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 建設業は個別生産のため、その現場によって現場条件を確認する必要がある
- ② 工事原価に交通費や通信費は含まれない
- ③ 工事に必要な原価に経費や利益を加え見積り金額を決定する
- ④ 工事着手の時期によっては、技能労働者の不足により予算がオーバーする可能性がある

**問題12. 実行予算に関する記述として、不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 受注前に必要な費用を予測・算出すること
- ② 施工計画と一体で作成する
- ③ 発注する枠組みで作成する
- ④ 目標予算に収まるように組む必要がある

**問題13. 原価管理に関する記述として、最も不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 実行予算と実績を比較しながら管理することを、予算実績管理と言う
- ② 目標利益の達成が困難と判明すれば、直ちに原価低減を行う
- ③ VEを実施すると不必要な経費の増大が発生する恐れがある
- ④ 設計変更は、原価を増大させる原因となる

**問題14. 品質管理に関する記述として、最も不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 施工現場の品質管理は、目的の建設物を作る過程に重点がおかれる
- ② 建物を建築する際には、建築基準法に適合する必要がある
- ③ 品質管理とは、品質を最優先にして物を作り出すことである
- ④ 契約不適合責任(瑕疵担保責任) は、建物引渡し時に発生する

**問題15. 次の語句と説明した文章の組合せで、不適当なものを1つ選びなさい**

- ① I S O規格      －      国際標準化機構によって策定された国際規格
- ② 性能規定       －      使用材料・施工方法などを具体的に細かく定める
- ③ 特性要因図     －      結果と原因の因果関係を整理するために用いる
- ④ T Q M           －      全社的品質マネジメント

**問題16. 熱中症等対策の基本管理に関する記述について、不適当なものを1つ選びなさい**

- ① WBGT指針計で作業現場のWBGT値を計測する
- ② のどの渇きに関係なく、真水以外は摂らせないのが基本である
- ③ 十分な休憩時間や作業休止時間を確保する
- ④ 重労働は、作業時間を短くしたり、朝夕の涼しい時間帯に行う

**問題17. 労働安全衛生法で定められている「悪天候」の定義として、不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 「強風」とは、10分間の平均風速が毎秒10メートル以上をいう
- ② 「大雨」とは、1回の降雨量が50ミリメートル以上をいう
- ③ 「大雪」とは、1回の降雪量が30センチメートル以上をいう
- ④ 「暴風」とは、瞬間風速が毎秒30メートルを超える風をいう

**問題18. 足場からの墜落防止措置に関する記述で、最も不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 組立て、解体または変更の時期、範囲と順序をこの作業に従事する労働者に周知させること
- ② 一定規模以上の建築現場では、手摺先行足場が義務化されている
- ③ 悪天候のため、作業の実施について危険が予測されるときは、作業を中止する
- ④ 材料等を上げ下ろしする時は、つり網、つり袋などを労働者に使用させる

**問題19. リスクアセスメントに関する記述について、不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 作業を始める前の計画段階で、その作業に潜むリスクを洗い出す
- ② 洗い出したリスクそれぞれは、どの程度の頻度で発生するか予想する
- ③ 予想したリスクは、小さなものから順にすべて対策を立てる
- ④ 作業前に、その対策を実施し、許容できないリスクをなくす

**問題20. 安全指示をうまく伝えるためのポイントとして、不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 安全指示をする人の心構えは、強い自覚と信念で例外は認めず妥協しない
- ② 安全指示には、現場の状況把握、安全関係法規、作業前の念入りな打合せが欠かせない
- ③ 安全指示は、先入観を与えないようできるだけ抽象的な言葉で説明する
- ④ 安全指示は、実物や実例を用いてできるだけ具体的に説明する

**問題21. 建設業法上違反やそのおそれがある記述として、行為事例に該当しないものを1つ選びなさい**

- ① 元請負人が、不明確な工事内容の提示等、曖昧な見積条件により下請負人に見積もりを行かせた場合
- ② 元請負人が、「出来るだけ早く」等の曖昧な見積期間を設定せず見積もりを行かせた場合
- ③ 元請負人が、下請負人から工事内容等の見積条件に関する質問を受けた際に文書で回答した場合
- ④ 元請負人が、土壌汚染があることを知りながら、下請負人にその情報を知らせず見積させ、契約した場合

**問題22. 建設業法に定められた事項に関する記述として、最も不適当なものを1つ選びなさい**

- ① 赤伝処理を行う場合、下請間はその内容を見積条件・契約書面に明示する必要がある
- ② 不当に低い請負代金とは、通常必要と認められる原価に満たない請負代金のことをいう
- ③ 指値発注とは、元請負人が下請負人と十分な協議を行い、お互いで取り決めた請負代金で契約することをいう
- ④ 支払いはできる限り現金によるものとし、少なくとも労務費に相当する部分については、現金で支払う必要がある

**問題23. 元請負人の下請負人への工期変更に伴う増加費用に関する記述について、適当なものを1つ選びなさい**

- ① 元請負人が自己の取引上の地位を利用し、一方的に下請代金額を決定した場合
- ② 元請負人と下請負人が協議し、合意した下請負代金で下請負契約を締結した場合
- ③ 下請負人の責めに帰すべき理由がない工期の変更による代金の増加を一方的に下請負人に負担させた場合
- ④ 赤伝処理を行った結果、下請負の額が通常必要と認められる原価に満たない金額となる場合

**問題24. 建設業法令遵守ガイドラインに関する記述について、不適當なものを1つ選びなさい**

- ① 元請負人、下請負人との公正かつ透明な取引の実現
- ② 元請負人、下請負人との対等な関係の構築
- ③ 元請負人、下請負人との建設業法に従った契約の締結
- ④ 元請負人、下請負人双方の利益の確保

**問題25. 帳簿の備付け・保存及び営業に関する記述として、最も不適當なものを1つ選びなさい**

- ① 帳簿には、契約書若しくはその写し又はその電磁的記録を添付しなければならない
- ② 建設業者は、営業所ごとに、営業に関する事項を記録した帳簿を備えなければならない
- ③ 建設業者は、営業に関する事項を記録した帳簿を5年間保存しなければならない
- ④ 発注者から直接請け負った建設工事の完成図等の図書は、5年間保存しなければならない

**◆ 登録基幹技能者に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい**

**問題26.** 時間外労働の上限規定に違反した場合は、3か月以下の懲役または30万円以下の罰金に処せられる

**問題27.** 登録鳶・土工基幹技能者とは、国土交通大臣が登録した機関が実施する登録鳶・土工技能者修了者である

**問題28.** 熟練した施工能力は、勿論必要に応じ元請に対して、提案や関係者との調整等を行える優れた能力が必要である

**問題29.** 指導・教育の基本は、仕事そのものであるという認識をもつ

**問題30.** 目標達成に向けて自己啓発を取り入れることは、モチベーションの維持に繋がる

**◆ 施工管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい**

**問題31.** 建設工事は現地生産のため、現場での社会的制約を受ける

**問題32.** 施工管理の目的達成には、作業員が生き生き働くための条件整備と適合した作業方法に気を配る必要がある

**◆ 工程管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい**

**問題33.** 無駄を少なくし、且つ予定の期間内に作業を終了させ、後工程に引き渡すことが工程管理の一番の目的である

**問題34.** 決められた工期を守るため、常に多めの作業員を手配する必要がある

◆ 原価管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題35. 毎日の作業日報で、契約内と契約外工事を明確にしておく必要がある

問題36. 社会保険料は、労働者の日当総額の約3割超で、事業主が全額負担する

問題37. 建設業の「4原価要素」とは、材料費・労務費・外注費・経費のことである

◆ 資材管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題38. 建設機械の使用・取扱いでは、機械の能力を超えた使用及び安全装置を解除しての使用を禁止する

◆ 品質管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題39. 作業標準書とは、標準化した作業内容を文書化したものである

問題40. 品質保証とは、発注者の要求する品質が十分に満たされていることを保証するための体系的活動である

◆ 安全管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題41. ヒューマンエラーを踏まえ、注意力に限界がある人間に対し、安全指示「足元注意」は有効なことである

問題42. ひとたび事故が起これば、本人や家族が不幸になるとともに、建設会社も民事賠償責任・刑事責任・行政責任・社会的責任を負うことになる

問題43. 足場設置のため確保した幅が1メートル以上の箇所について、その一部が公道にかかり使用許可が得られない場合等については、本足場を設置しなくともよい

問題44. 掘削面の高さが1.5m以上の作業には、作業主任者の配置が必要である

問題45. 労働安全衛生法で定められている「両罰規定」とは、違反行為者と職長の両者を罰することを言う

◆ 関係法令に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題46. 契約書面における工事内容は、工事代金が500万円未満であれば工事内容を「○○工事一式」という記述ができる

問題47. 注文書には請負人が、請書には注文者がそれぞれ署名又は記名押印すること

問題48. 元請負人が、合理的な理由なく下請工事の契約変更を行わない場合は建設業法に違反する

問題49. 建設業における働き方改革のためには、適正な工期の確保が必要である

問題50. 建設業者が負担が義務付けられている法定福利費は、通常必要な原価に含まれない